



心のバリアフリー

ハートとハードで、
バリアをなくそう！

東京都は「心のバリア」と「ハードのバリア」をなくし、
全ての人々が平等に参加できる社会を目指していきます。



東京都心の
バリアフリー
公式ホームページ

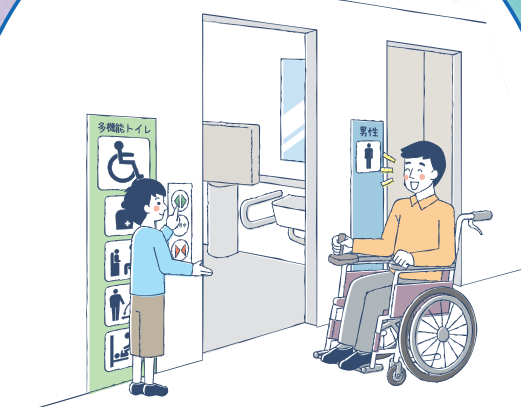


解説動画
「選びましょう
自分にあったトイレ」



東京都福祉局

選びましょう 自分に合ったトイレ



自分に合った
トイレとは何か
考えてみませんか？



設備を見て
使用するトイレを
決めてみませんか？



全ての人々が安心して
公共トイレを利用するために



東京都福祉局



心のバリアフリー

トイレは全ての人にとって、生活の中で欠かせない身近な設備。

特に高齢の人、障害のある人、乳幼児を連れた人などにとって、外出時に利用できるトイレが見当たらないことは、目的地に移動をする時の大きな制約となります。

トイレの様々な設備

これまで、多様な特性※を持つ人が利用できるトイレとして、様々な設備が集約された「多機能トイレ」が多く設置されてきました。

※高齢の人、車椅子や杖を使っている人、乳幼児を連れた人、人工膀胱・人工肛門を保有している人（オストメイト）などのこと



車椅子利用者対応トイレ

車椅子を回転できる広いスペースがあり、手すりなどの設備を設けたトイレ



乳幼児用設備

ベビーチェア、おむつ交換台など乳幼児を連れた人が使用するための設備のこと



オストメイト用設備

主にオストメイトがパウチやしびん等を洗浄するために使用する汚物流しのこと

選びましょう 自分に合ったトイレ みんなのために

快適なトイレ環境をつくるためには、設備が整っているだけでなく、利用する人が一人ひとりのことを考え、行動をすることが必要です。

トイレを利用する際の困りごと

近年、公共施設、公園、商業施設、鉄道駅などの公共トイレでいろいろな問題も発生しています。

CASE 1



利用したい人が集中し、長い時間待つことになってしまう。

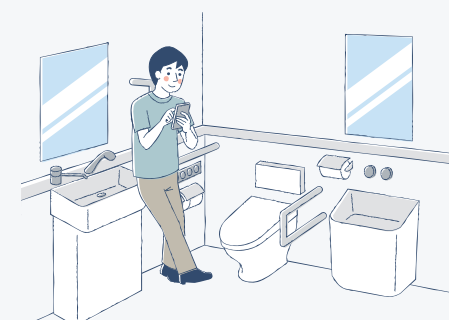
CASE 2



外見からはその必要性が分からない人が、利用しづらいと感じてしまう。

例:オストメイトが車椅子利用者対応トイレの設備を利用する場合

CASE 3



本来の目的とは違った使い方により、本当に必要としている人が利用できない。

行動の例

- ▶ 他に利用可能なトイレがあれば、車椅子利用者対応トイレは空けておく
- ▶ 個室にある設備を見て利用するトイレを選ぶ

心のバリアフリー公式ホームページ



「公共トイレのバリアフリー設備」の詳しい説明を掲載しています。